令和８年度　春休み期間延長に関する保護者アンケート【結果】

＜春休み期間の延長の目的＞

(1) 教職員が前年度からの引き継ぎや共通確認すべき事項を共有し、児童生徒にとって安心・安全に過ごせる体制を整える時間を確保する。

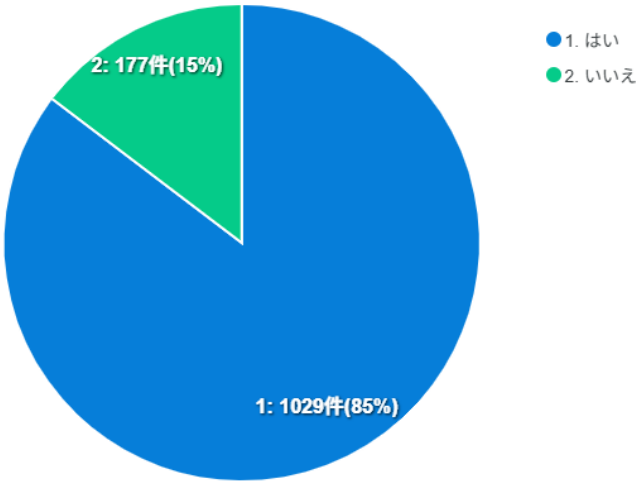
(2) 学級経営や教科経営の準備を整えることで諸問題行動の減少に繋げる。

(3) 配慮を要する児童生徒が安心して新年度を迎えられるように保護者との面談を春休み期間中に行う。

【回答対象】　豊見城市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者

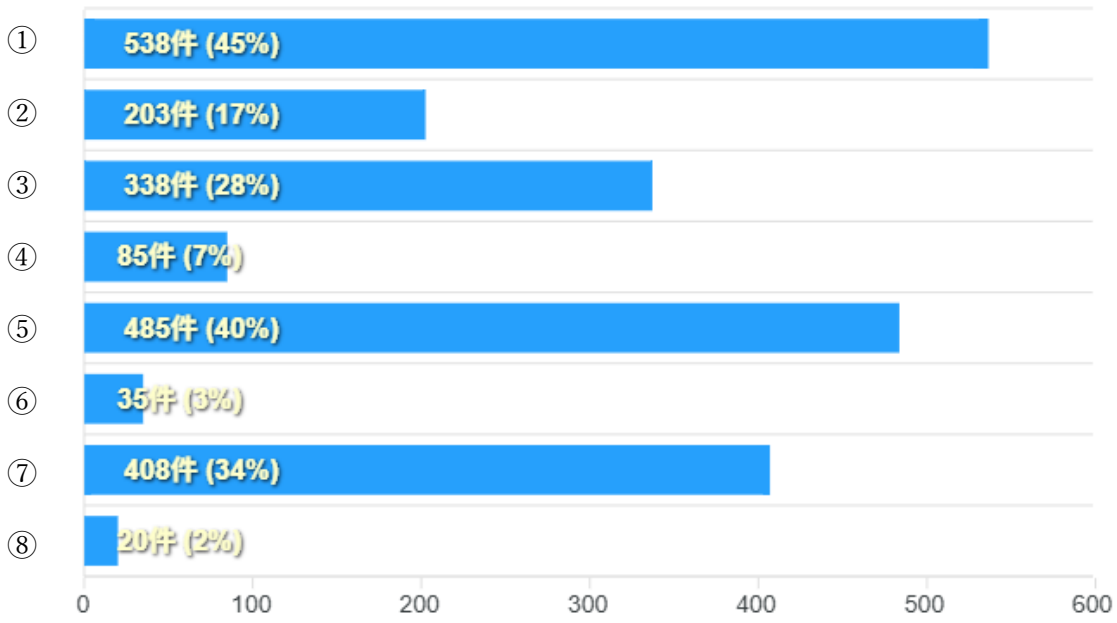
【回 答 数】　1206 件

1.「令和８年度　春休み期間延長に関する教職員アンケート結果」をご覧になりましたか。



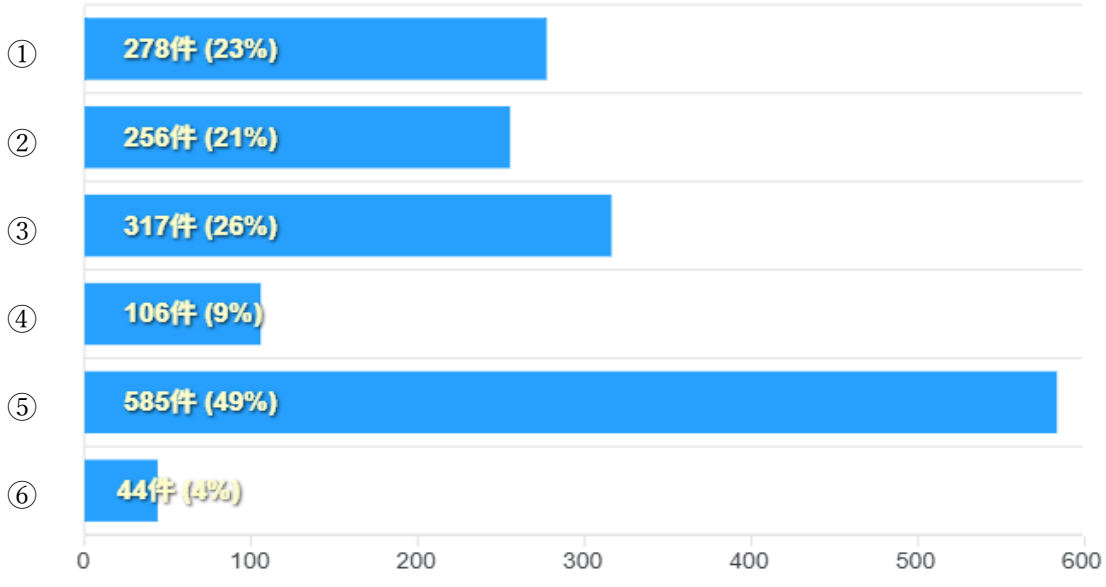
2. 令和８年度の春休み期間延長の目的は達成されましたか。(該当するものをすべてお選びください)

① 教職員が新学期への引き継ぎや準備を十分に行うことができたと思う。
② 配慮が必要な児童生徒へのきめ細やかな対応が行われたと思う。
③ 児童生徒にとって安心・安全な新学期スタートができたと思う。
④ 不登校児童生徒の登校に良い影響があったと思う。
⑤ 教職員の働き方改革につながったと思う。
⑥ 目的は達成されなかったと思う。
⑦ わからない。
⑧ その他

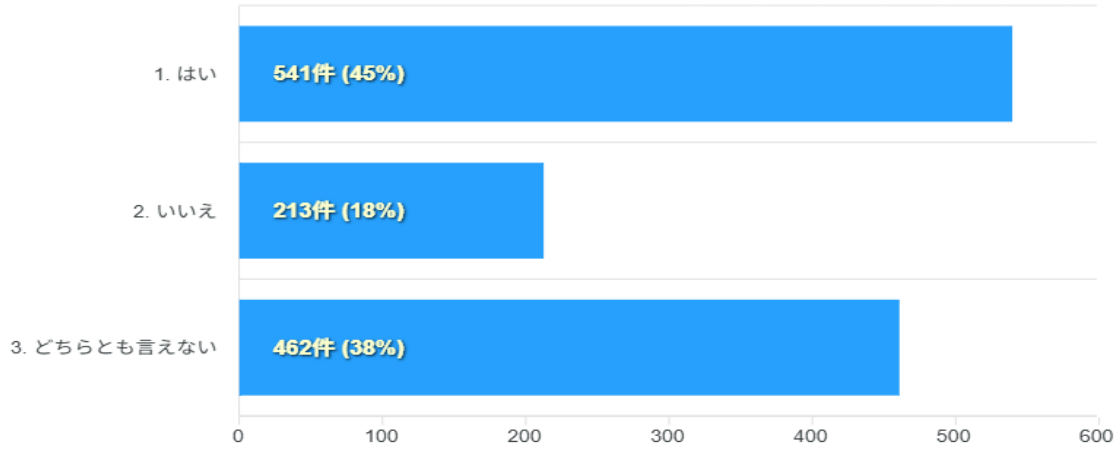


3. 春休み期間延長に関して、課題に感じたことはありますか。(該当するものをすべてお選びください)

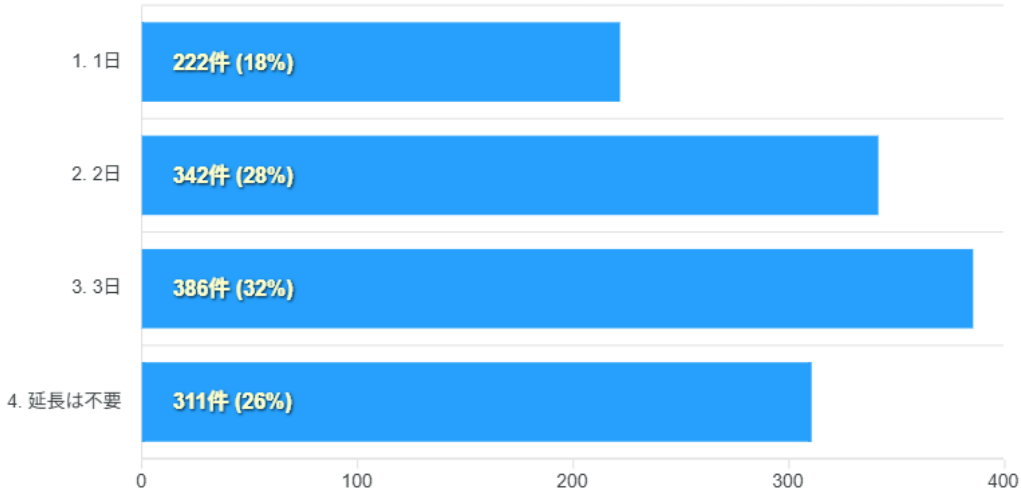
① お子様の生活リズムが乱れやすくなった。 ② 長期休暇中の過ごし方や学習計画を立てるのが難しかった。 ③ 延長期間中の預け先や過ごし場所に困った。 ④ 学校からの情報提供が不足していると感じた。 ⑤ 特に課題はなかった。 ⑥ その他



4. 令和９年度以降も、春休み期間の延長は必要だと思いますか。



5. 春休み期間の延長について、延長期間は何日が妥当だと思いますか。



6. 春休み期間の延長について、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください。**※ 掲載内容は意見や要望が多かった順にまとめています。**

１ 教員の負担軽減と質の向上

・教員の業務負担軽減や新年度準備のゆとり確保は必要で、延長自体には賛成する。

・教員が心身ともに余裕を持つことで、質の高い教育や児童への対応につながると期待している。

2 子どもの預け先・居場所の問題と保護者の負担増

・共働き家庭やひとり親家庭にとって、子どもの預け先確保が困難であり、保護者の負担が増大している。

・学童保育や地域の居場所（公民館、図書館など）の拡充、または半日登校などの対応がほしい。

・長期休暇中の昼食（弁当作り）や安全面への懸念がある。

3 授業時数の確保と学力低下への懸念

・休校が増える中で授業時数が確保できるのか、子どもの学力低下につながらないかという懸念がある。

・課題や予習・復習の必要性を求める声や、学習機会の減少が心配。

4 期間延長の意義・目的の不明瞭さ

・延長の具体的な目的や効果が保護者に伝わっていないと感じる。

・教員アンケートの結果だけでは判断しづらく、客観的なデータや具体的な活動報告がほしい。

5 他市町村との調整・統一の要望

・他市町村や県全体で春休み期間を統一してほしい。

・自治体ごとに期間が異なることで、保護者の調整や情報収集の負担が増加している。

6 長期休暇の分散・調整の提案

・春休みだけでなく、夏休みや秋休みなど他の長期休暇の期間を調整・分散させることで、年間を通じてバランスの取れた休暇設定が必要。

7 新年度へのスムーズな移行

・新学期へのスムーズな移行のために、段階的な登校（半日登校など）や、新年度の先生との面談機会などが必要。

・特に新入生や転校生、不登校児童への配慮が必要。

8 情報提供の改善

・春休み延長に関する情報提供が遅かった、また閲覧できなかった。

・年間予定表の早期開示や、アンケート結果の公開をしてほしい。

9 教員の働き方改革と他職種との比較

・教員の働き方改革は必要と理解しつつも、他の職種も同様に多忙であり、教員だけが優遇されていると感じる。

・教員数を増やす、事務作業を外部委託するなど、他の働き方改革の検討も必要。

10 子どもの過ごし方への懸念と改善提案

・子どもが長期休暇中に自宅でだらだら過ごし、ゲームなどに時間を費やすことへ懸念がある。

・学校図書館の開放、地域でのボランティア活動や学習会、イベント情報提供など、子どもの有意義な過ごし方を支援する取り組みをしてほしい。